

しりょう
【資料の広場】

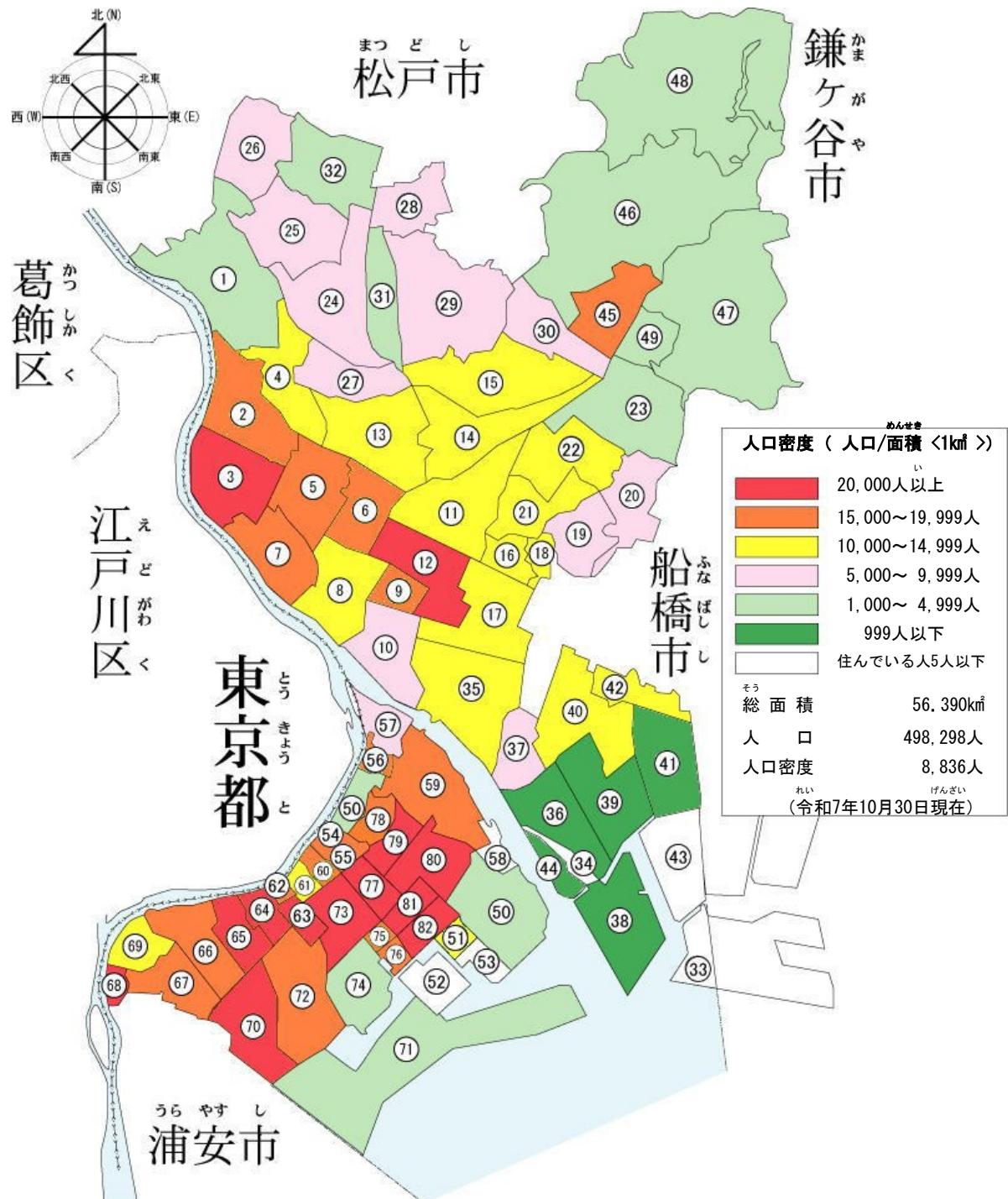
◆市川市の町名と人口密度

町名	町名	町名	町名
①国府	台	②4国	分
いち	かわ	なか	ぶん
②市川	川	②5中	國
いち	みなし	きた	ぶん
③市川	南	②6北	國
ま	ま	す	わ
④真間	間	②7須和	田
しん	でん	いな	ごし
⑤新田	田	②8稻	越
ひら	た	そ	や
⑥平田	田	②9曾	谷
おお	す	しも	づか
⑦大洲	洲	③0下貝	塚
おお	だ	ひがし	こく
⑧大和	田	③1東國	分
ひがし	だ	ほり	うち
⑨東大和	田	③2堀之	内
とう	ぎ	ひがしま	
⑩稻荷	木	③3東浜	1丁
や	わた	た	目
⑪八幡	幡	③4田尻	尻
みなみ	わた	たじり	
⑫南八幡	幡	③5田尻1~5	丁目
すが	の	こう	や
⑬菅野	野	③6高谷	谷
ひがし	すが	こうや	
⑭東菅野	野	③7高谷1~3	丁目
みや	ぼ	こうや	しんまち
⑮宮保	久	③8高谷新町	き
おに	ごえ	ばら	
⑯鬼越	越	③9原木	木
おに	たか	ばらき	
⑰鬼高	高	④0原本	1~4丁目
たか	いし	ふた	また
⑱高石	石	④1二	俣
なか	やま	ふたまた	
⑲中山	山	④2二俣	1~2丁目
わか	みや	ふたまた	しんまち
⑳若宮	宮	④3二俣新町	でん
きた	かた	かみ	みよう
㉑北方	方	④4上妙典	の
もと	かた	みなみ	おお
㉒本北	北	④5南北大野	まち
ぼつ	けまち	おお	
㉓北方町	4丁目	④6大野	町

参考・市川市役所資料

あなたの住んでいる地図のようすはどうですか？

ほかの地図とくらべてみましょう。



◆市川市のうつりかわり

時代	めいじ 時代					
年	一八七五 (明一八)	一八九〇 (明二八)	一八九五 (明三八)	一九〇五 (明四〇)	一九〇七 (明四一)	一九〇七 (明四二)
主なできごと	<p>市川町・八幡町・行徳町・中山村・五常村(国分村)・大柏村・南行徳村が誕生した。(明治二二)</p> <p>國府台に軍たいがおかれた</p>					
人々の暮らし	<p>国分でぶどう作りがはじまつた。</p> <p>八幡で梨作りがさかんに行われていた。</p> <p>行徳で塩作りが行われていた。</p> <p>中山が法華経寺の門前町としてさかえていた。このころ、さかえていたのは行徳のあたりだった。</p>					
学校	<p>中山小のもとになる学校ができるた。(明治九)</p> <p>信篠小のもとになる学校ができるた。(明治八)</p> <p>市川小ができる。(明治七)</p> <p>大柏小・国分小・南行徳小・行徳小・八幡小ができる。(明治六)</p>					
そのほか(交通)	<p>東京と成田の間に、はじめて鉄道がしかれ市川駅ができる。(明治二七)</p> <p>下総中山駅ができる。(明治二八)</p> <p>江戸川橋(木の橋)ができる。(明治三八)</p> <p>鎌ヶ谷と行徳の間に人車鉄道ができる。(明治四〇)</p> <p>京成電鉄がはじめて、江戸川と真間の間をとおり、京成国府台駅と真間駅ができる。(明治四三)</p>					
人口(人)						

たい 大 正 時 代		しょ わ 昭 和 時 代	
一九一五 (大正四)	一九二五 (大正四)	一九三五 (昭一〇)	一九四五 (昭二〇)
大つなみで行徳・南行徳が大きなひがいをうけた。 (大正六)	関東大しんさいがおきた。 (大正一二)	市川町・八幡町・中山町・国分村がいっしょになつて市川市となつた。 県内3番目(昭和九)	市川にも空しゆうがあつた。 台風で真間川がはんらんした。(昭和一六)
江戸川放水路ができる。 (大正八)	このころ地しんで、ひがいをうけた人たちが東京からうつり住むようになった。 市川にはじめて水道がひかれた。	太平洋戦争がはじまつた。 行徳の塩作りがなくなつた。	戦争によって家がやかれたり、こわされたりした人たちが東京からうつり住むようになった。
人車鉄道がなくなった。(大正六) 京成菅野駅、京成八幡駅、京成中山駅ができる。(大正四)	国府台女子学院ができる。 (大正一五)	昭和学院ができる。(昭和一五)	市川・真間・中山・八幡・国分・南行徳の中のもとになる学校が新制中学としてできた。
一八八八八 (大正九)	三〇〇〇〇 (大正一四)	四〇〇〇〇 (昭和九)	八五〇〇〇 (昭和二一)
一〇〇〇〇〇 (昭和二十四)	三八〇〇〇 (昭和五)	五八〇〇〇 (昭和一五)	宮田小ができる。(昭和二五)

時代	昭和時代			
年	一九五五 (昭三〇)	一九六〇 (昭四〇)	一九六五 (昭五〇)	一九七五 (昭五〇)
主なできごと	台風で真間川があふれ真間や菅野がひがいをうけた。 (昭和三二)	行徳海岸のうめ立てがはじまつた。 (昭和三四)	アメリカのガーデナ市と姉妹都市となる。 (昭和三七)	行徳のうめ立て地に大きな工場がたてられるようになつた。 大野・大町で梨作りがさかんにおこなわれるようになつた。物館ができる。 (昭和四七)
人々の暮らし	このころ新田でいちご作りがさかんにおこなわれていた。 (昭和三二)	このころ新田でいちご作りがさかんにおこなわれていた。 (昭和三二)	このころ国電の南がわの新田や大洲に工場がたてられるようになった。	行徳のうめ立て地に大きな工場がたてられるようになつた。 大野・大町で梨作りがさかんにおこなわれるようになつた。
学校	稻荷木小・鬼高小ができる。 (昭和三二)	菅野小・第六中・市立ようご学校ができる。 (昭和三二)	第七中ができる。 (昭和三七)	二俣小ができる。 (昭和四五) 宮久保小ができる。 (昭和四三) 鶴指小・第八中ができる。 (昭和四七)
そのほか(交通)	京葉道路ができる。 (昭和三五)			
人口(人)	一四〇〇〇〇 (昭和三二)	一六〇〇〇〇 (昭和三五)	二〇〇〇〇〇 (昭和四〇)	二六〇〇〇〇 (昭和四五)

昭和時代	平成時代
	二〇一八 (平三〇) 東京外かく環状道路が開通した。 (平成三〇)
二〇一一 (平二三) 東日本大震災がおきた。 (平成二三)	二〇一〇 (平二二) 市川駅南口地区の再開発が完了した。 (平成二二)
一九八五 (昭六〇) 市民プール・少年自然の家・市川歴史博物館ができた。 (昭和五七) 中国の楽山市と友好都市になつた。台風で須和田や東国分が大水のひがいをうけた。 (昭和五五)	一九九〇 (平二二) 市川市文化会館・動植物園ができた。 (昭和六〇) インドネシアのメダン市と姉妹都市になつた。塩浜体育館ができた。 (平成元)
一九八六 (昭六一) 大野あたりに住たくやマンショ�이모도이이수이기장이었다.	一九九〇 (平二一) ドイツのローゼンハイム市とパートナーシティとなつた。大洲防災公園ができる。
一九八七 (昭六二) 根本排水機場ができた。	一九九一 (平二〇) 阪神・淡路大震災がおきた。 (平成七)
一九八八 (昭六三) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	一九九一 (平二〇) 市川市リハビリテーション病院ができる。
一九八九 (昭六四) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	一九九二 (平二一) 妙典にも住たくやマンションができる。
一九九〇 (昭六五) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	一九九二 (平二二) 第七中が新しくなり、保育・介護・公会堂施設がいっしょにできた。 (平成一六)
一九九一 (昭六六) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	一九九三 (平二三) 妙典小ができた。 (平成一九)
一九九二 (昭六七) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	一九九四 (平二四) 地下鉄東西線妙典駅ができる。
一九九三 (昭六八) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	一九九五 (平二五) 京成電鉄が北総線開発鉄道経由で成田空港につながった。 (平成二二)
一九九四 (昭六九) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	一九九六 (平二六) 北総開発鉄道が開通し、北国分駅・松飛台駅・大町駅ができる。 (平成三)
一九九五 (昭七〇) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	一九九七 (平二七) 京葉線が東京駅へ乗り入れるようになつた。 (平成二)
一九九六 (昭七一) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	一九九八 (平二八) 地下鉄新宿線本八幡駅ができる。 (平成元)
一九九七 (昭七二) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	一九九九 (平二九) 京葉線が開通し、二俣新町・市川塩浜駅ができる。 (昭和六三)
一九九八 (昭七三) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇〇〇 (平三〇) JRがJRとなつた。
一九九九 (昭七四) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇〇一 (平三一) 地下鉄東西線南行徳駅ができる。
二〇〇〇 (昭七五) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇〇二 (平三二) 義務教育学校塩浜学園ができる。
二〇〇一 (昭七六) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇〇三 (平三三) 須和田の丘支援学校稻越校舎ができた。 (平成二〇)
二〇〇二 (昭七七) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇〇四 (平三四) 妙典小ができた。 (平成二一)
二〇〇三 (昭七八) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇〇五 (平三五) 京成電鉄が北総線開発鉄道経由で成田空港につながった。 (平成二二)
二〇〇四 (昭七九) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇〇六 (平三六) 北総開発鉄道が開通し、北国分駅・松飛台駅・大町駅ができる。 (平成三)
二〇〇五 (昭八〇) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇〇七 (平三七) 京葉線が東京駅へ乗り入れるようになつた。 (平成二)
二〇〇六 (昭八一) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇〇八 (平三八) 地下鉄新宿線本八幡駅ができる。 (平成元)
二〇〇七 (昭八二) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇〇九 (平三九) JRがJRとなつた。
二〇〇八 (昭八三) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇一〇 (平四〇) 地下鉄東西線南行徳駅ができる。
二〇〇九 (昭八四) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇一一 (平四一) JRがJRとなつた。
二〇一〇 (昭八五) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇一二 (平四二) 京成電鉄が北総線開発鉄道経由で成田空港につながった。 (平成二二)
二〇一一年 (昭八六) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇一三年 (平四三) 北総開発鉄道が開通し、北国分駅・松飛台駅・大町駅ができる。 (平成三)
二〇一二年 (昭八七) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇一四年 (平四四) 京葉線が東京駅へ乗り入れるようになつた。 (平成二)
二〇一三年 (昭八八) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇一五年 (平四五) 地下鉄新宿線本八幡駅ができる。 (平成元)
二〇一四年 (昭八九) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇一六年 (平四五) JRがJRとなつた。
二〇一五年 (昭九〇) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇一七年 (平四七) 地下鉄東西線南行徳駅ができる。
二〇一六年 (昭九一) 大和田小ができた(昭和五八)(昭和五七)	二〇一八年 (平四八) JRがJRとなつた。

時代	れいわ 令和時代			
年	二〇二〇 (令三)	二〇二一 (令四)	二〇二五 (令七)	
主なできごと		東京オリンピック・パラリンピック二〇二〇が一年延期で実施された。 (令三)	市川市で「国府サミット」が開催された。 (令七)	
人々の暮らし				
学校		小中一貫型小学校・中学校 信篤三つ葉学園がスタートした。 (令和四)	小中一貫型小学校・中学校 東国分爽風学園がスタートした。 (令和三)	
そのほか (交通)				
人口(人)	四九〇〇〇〇 (令和二)			